

情 報

深浦町北金ヶ沢において漁獲されたゲンロクダイについて

原 子 保¹⁾

Chaetodon modostus Temminck et Sehlegel Caught in Kitakanegasawa,
Fukaura-machi

Tamotu Harako¹⁾

はじめに

日本海沿岸域において操業される定置網や底建網には、秋から冬にかけて遙か南の海域に棲息する多くの魚類が、黒潮に乗ってたどり着き漁獲されることが知られている。

今回、本県で3例目の記録であるゲンロクダイが、北金ヶ沢の定置網で漁獲されたので報告する。

材料と方法

採集時期 1997年12月6日

場 所 青森県西津軽郡深浦町大字北金ヶ沢

漁 具 底建網（水深約40m）

魚 体 全長72mm, 体重10.0g

標本は、青森県水産試験場に保管されている。

結 果

同定結果

鰭棘 背鰭棘 11, 尻鰭棘 3

斑紋 背鰭第3～7にわたる円形黒紋

(写真参照)

眼を縦に走る1暗色縦帯紋

体側に全長約1/5幅の2つの暗色縦帯紋が胸鰭基部からと体の後部尾柄前端にかけて存在する。

同定の結果、ゲンロクダイであることが明らかとなった。

考 察

落合（1990）によれば中部以南で稀にしか採集されないとし、松原（1955）も同様の記載をしていた。

本県においては、松浦ほか（1988）に最初の記載があった。

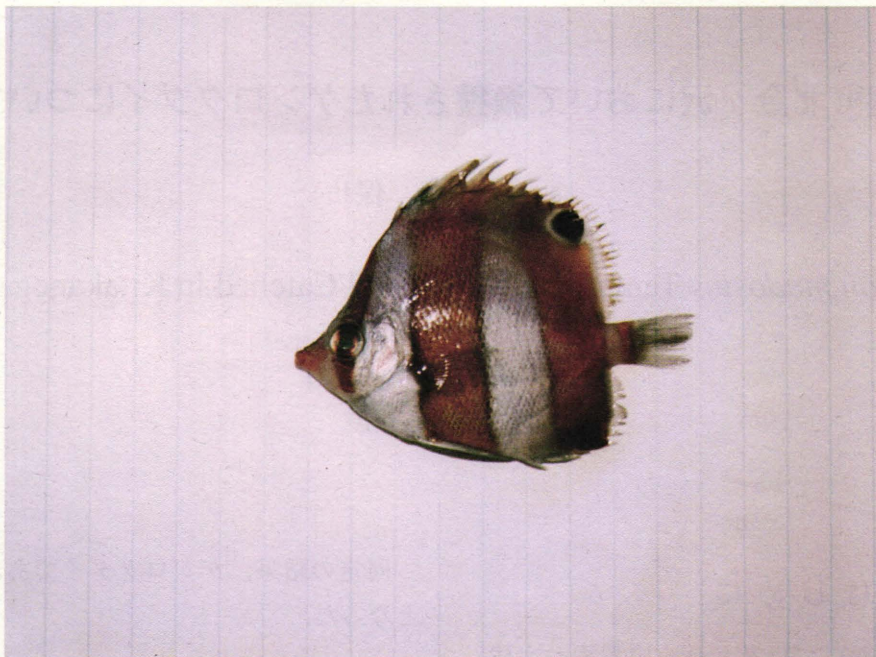
1997年から1999年にかけてミナミコノシロ、キダイ、ヒレコダイ、ネンブツダイ、エビスダイ、チョウチョウウオ、カライワシ等（ウオダス漁海況速報）の青森県日本海沿岸には一般的には棲息しないとされている多くの魚類が漁獲されており、青森県産魚類目録（塩垣，1982，1992）にも記載されていない種が、淡水魚を含めて10以上確認されている。

近年、魚類の分布棲息状況が大きく変化しつつあると考えられ、新たな魚類目録の作成が早急に迫られている。

文 献

- 落合 明（1990） 学研生物図鑑魚類。（株）学習研究社，東京，130，217。
塩垣 優（1982） 青森県産魚類目録。青森県水産試験場。
塩垣 優・野村義勝・杉本 匡（1992） 青森県産魚類目録補訂-I。青森県水産増殖センター研究報告，7。
松浦啓一・新井良一・塩垣 優・藍澤正宏（1988） 下北半島の魚類。国立科学博物館専報，21。
松原喜代松（1955） 魚類形態の検索。I-III，石崎書店，東京。

1) 青森県内水面水産試験場（034-0041 青森県十和田市大字相坂字白上344-10）



底建網で漁獲されたゲンロクダイ